

KCJS31 日本語Dクラス 2019年 秋学期

<講師>

- ・ 担任： 前口 織江 oy18@columbia.edu 副担任： 中村 伊都子 in2008@columbia.edu
- ・ 講師室： 扶桑館 2階 F203 電話： (075)251-4996

<このコースの目標>

1. 自分が言いたいことを分かりやすく表現できるようになる。
2. 書かれたものや言われたことを正しく理解できるようになる。
3. 相手や場面に合った表現ができるようになる。

<コースの内容>

読む： 読んだ内容について、習った表現を使って、話したり書いたりする。

書く： 書きたいことを分かりやすく、漢語彙を使って書く練習をする。

聞く： 聞いたことを理解し、よく分からなかった時は、聞き返せるようになるための練習をする。

話す： 言いたいことを分かりやすく説明したり、場面に合った話し方をする練習をする。

文法： 初級文法を復習して使えるようにする。日本語能力試験(JLPT)3～2級の文法を使えるようになる。

漢字： 小テストをすることで、漢字力をつける。書き約500字。

発表： 伝えたいことをまとめて、聞き手に分かりやすく発表する。

CIP： 日本人のグループに参加し、授業では学べない表現や文化を学ぶ。

<教科書>

1. 『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』鎌田修監修 The Japan Times(2012)
2. 『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語 ワークブック』鎌田修監修 The Japan Times(2013)

<参考書>

『日本語文型辞典 英語版』グループ・ジャマシイ くろしお出版(2015)

<注意>

日本語アワー(9:00-12:00)：①日本語以外の言語を話す・読む・書くときは、扶桑館の外で。

②携帯電話やスマホを使う時は、日本語でも扶桑館の外で。

予習・復習：①授業で答えられるように予習をして来る。

②習ったことを覚えるために、宿題以外に復習もする。

宿題：授業の前に出す。遅れたら点が半分になる。作文などをメールで送る場合も、授業の前までに。

欠席：①休む時は連絡をする。

②4時間までの欠席は、成績に影響しない。ただし、その日のうちに連絡すること。

遅刻：①授業が始まる前に席についていること。

②20分以上の遅刻は欠席とする。

試験／小テスト：①受けられなかった試験や小テストを後で受けることはできない。

カンニング／剽窃：①宿題は自分ひとりでする。

②他の人が書いた作文や、自分が前に書いた作文を書き直して出してはいけない。

その他のマナー：①授業中に食べたり飲んだりしない。

②急病などの場合以外は、授業中に教室を出ない。

せいせき
<成績>

授業参加・準備	20% (下から4回分の低い成績は落とす)
宿題	20%
レッスンテスト (9/3、10/24、11/21)	15%
期末試験 (書く・話す) (12/9)	10%
小テスト (単語、漢字など)	20% (下から2回分の低い成績は落とす)
発表	10%
CIP	5%
	<hr/>
	100%

100 - 94.0	A
93.9 - 90.0	A-
89.9 - 87.0	B+
86.9 - 83.0	B
82.9 - 80.0	B-
79.9 - 77.0	C+
76.9 - 73.0	C
72.9 - 70.0	C-
~	
59.9 -	F